

令和元年台風 15号 19号

緊急報告会

令和の新しい時代が幕開けしましたが、台風15号、19号の強大な台風が相次いで発生し、東日本を中心に甚大な被害をもたらしました。減災連携研究センターでは台風15号襲来から2カ月、台風19号襲来から1カ月経過したこの時点で明らかになってきたことについて、緊急報告会を開催することとしました。

日時

令和元年

11月16日(土)

9時30分～12時

場所

名古屋大学減災館
1階減災ホール

入場無料
申込不要

主催：名古屋大学減災連携研究センター

共催：名古屋大学土木系教室

★お問い合わせ：TEL: (052) 789-3468

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。

プログラム

開会の挨拶

9：30～9：40

センター長

福和伸夫

報告内容

9：40～11：25

1. 過去の台風被害（寛保2年洪水、狩野川台風等）について
2. 台風19号河川洪水氾濫について
3. 台風19号堤防被害について
4. 台風19号土砂災害について
5. 台風19号災害廃棄物について
6. 台風19号における被災者支援について
7. 台風15号の被害について（電力被害を中心に）

戸田祐嗣

協力教員（大学院工学研究科教授）

田代 喬

副センター長 / 社会連携部門教授

野田利弘

副センター長 / 研究連携部門教授

利藤房男

社会連携部門教授

平山修久

社会連携部門准教授

荒木裕子

強靱化共創部門准教授

都築充雄

社会連携部門准教授

総合討論・まとめ

11：25～11：55

減災社会を目指すために（地域社会のあるべき方向性について）

福和伸夫

センター長 / 強靱化共創部門教授

閉会の挨拶

11：55～12：00

副センター長

田代 喬

※ プログラムの内容に一部変更の可能性があります。

当日13時半より、当センターの「伊勢湾台風から60年記念事業」によるシンポジウム第一弾「伊勢湾台風～60年前の教訓と新たに生まれた課題」が開催されます。引き続きご参加いただきますようお願いします。